

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	コマダ ヨシヒロ 駒田 美弘 ＜平成27年4月＞		医学博士		三重大学 学長 (平成27.4～令和3.3)

（教育学研究科教職実践高度化専攻（教職大学院））												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
1	専	教授	モリワキ タケオ 森脇 健夫 ＜令和3年4月＞		教育学 修士		現代カリキュラム論 カリキュラム開発の理論と方法 授業研究の理論と方法 学校改革の中の現代教師論 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 授業研究としての教師のライフヒス トリー研究 表現教育としての教育実践 アクションリサーチを生かした同僚 性の構築と教師の力量形成	1・2前 1・2後 1・2前 1・2前 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2前 1・2前 1・2後	2 2 2 2 2 2 2 2 5 5 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平3.10）	5日
2	専	教授	スズノ ヒトシ 須曾野 仁志 ＜令和3年4月＞		教育学 修士		授業デザインと学習指導 専門職（プロフェッショナル）とし ての教師論 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ ICTを用いた授業改善とアクティブ ラーニング 各教科教育の授業研究の最前線※	1・2前 1・2前 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2前 1・2前	2 2 2 2 2 2 5 5 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平9.4）	5日
3	専	教授	セト ケンイチ 瀬戸 健一 ＜令和3年4月＞		博士 （教育学）		生徒指導の今日的な課題と実践 教育相談論 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ カウンセリングの理論と実践	1・2前 1・2後 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2後	2 2 2 2 2 2 5 5 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平28.4）	5日
4	専	教授	モリタ ヨウイチ 守田 庸一 ＜令和3年4月＞		修士 （教育学）		各教科教育の授業研究の最前線※ 国語科授業の目的と内容 国語科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内 容研究（中等・国語科） 国語科教材研究・教材開発演習	1・2前 1・2前 1・2後 1・2後 2前	0.3 2 2 2 2	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平19.4）	5日
5	専	教授	ナガタ シゲフミ 永田 成文 ＜令和3年4月＞		博士 （教育学）		各教科教育の授業研究の最前線※ 社会科・地理歴史科の授業目的と内 容 教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／地理歴史科） 教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／公民科） 社会科・公民科の授業目的と内容	1・2前 1・2前 1・2後 1・2後 2前	0.3 2 2 2 2	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平16.4）	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位 数	年 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
6	専	教授	オギハラ アキラ 荻原 彰 ＜令和3年4月＞		博士 （学校教育 学）		各教科教育の授業研究の最前線※ 理科の授業目的と内容 理科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・理科） 理科教材開発実習	1・2前 1・2前 1・2後 1・2後 2前	0.3 2 2 2 2	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平16.4）	5日
7	専	教授	ウエキヤマ ヒロシ 上山 浩 ＜令和3年4月＞		教育学 修士		各教科教育の授業研究の最前線※ 美術科の授業目的と内容 美術科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・美術） 美術科教材開発実習	1・2前 1・2前 1・2後 1・2後 2前	0.1 2 2 2 2	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平9.4）	5日
8	専	教授	オカノ ノボル 岡野 昇 ＜令和3年4月＞		博士 （心理）		各教科教育の授業研究の最前線※ 保健体育の授業目的と内容 保健体育の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・保健体育） 保健体育科教材開発実習	1・2前 1・2前 1・2後 1・2後 2前	0.1 2 2 2 2	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平11.4）	5日
9	専	教授	ウオズミ アキオ 魚住 明生 ＜令和3年4月＞		修士 （学校教育 学）		各教科教育の授業研究の最前線※ 技術科における授業の目的と内容 ものづくり教育の基盤的知識とその 本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・技術科） 技術科教材開発実習	1・2前 1・2前 1・2後 1・2後 1・2後	0.1 2 2 2 2	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平20.4）	5日
10	専	教授	ヨシモト トシコ 吉本 敏子 ＜令和3年4月＞		教育学 修士		各教科教育の授業研究の最前線※ 家庭科の授業目的と内容 家庭科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・家庭科） 家庭科教材開発実習	1・2前 2前 1・2前 1・2後 1・2後	0.1 2 2 2 2	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 特任教員（教育担当）特 任教員 （令2.4）	4日
11	専	教授	アラオ ヒロコ 荒尾 浩子 ＜令和3年4月＞		博士 （学術）		各教科教育の授業研究の最前線※ 英語科の授業目的と内容 英語の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・英語） 英語科教材開発実習 海外教育特別実地研究	1・2前 2前 1・2前 1・2後 1・2後 1・2前	0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平16.4）	5日
12	専	教授	ナカニシ ヨシフミ 中西 良文 ＜令和3年4月＞		修士 （教育心 理学）		現代カリキュラム論 カリキュラム開発の理論と方法 授業デザインと学習指導	1・2前 1・2後 1・2前	2 2 2	1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平16.4）	5日
13	専	教授	トミタ ショウヘイ 富田 昌平 ＜令和3年4月＞		博士 （学校教 育学）		幼児教育・保育の理論と方法 幼児・児童理解と発達支援 幼児教育・保育の実践分析と開発 家庭・地域連携の取組の実践分析と 開発	1・2前 1・2前 1・2前 1・2後	2 2 2 2	1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平25.4）	5日
14	専	教授	マツウラ ナオミ 松浦 直己 ＜令和3年4月＞		博士 （医学）		授業研究の理論と方法（特別支援教 育） 特別支援教育の課題解決演習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅰ（特別支援教 育） 課題発見・解決実習Ⅱ（特別支援教 育） 脳科学からみた障害児支援 特別支援教育コーディネーターの役 割と支援 障害児のコミュニケーション支援 発達障害児の事例分析 障害児の教育と福祉	1・2前 1前 1通 2通 1・2後 1・2前 1・2後 1・2前 1・2前	2 2 5 5 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平28.10）	5日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位 数	当 年 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
15	専	教授	キクチ トシヒコ 菊池 紀彦 ＜令和3年4月＞		修士 （教育学）		授業研究の理論と方法（特別支援教育） 特別支援教育の課題解決演習Ⅲ 課題発見・解決実習Ⅰ（特別支援教育） 課題発見・解決実習Ⅱ（特別支援教育） 肢体不自由児の理解と支援 障害児のコミュニケーション支援 発達障害児の事例分析 障害児のキャリア支援 障害児の教育と福祉 学校の安全と防災教育※	1・2前 2前 1通 2通 1・2前 1・2後 1・2前 1・2前 1・2前 1・2通	2 2 5 5 2 2 2 2 2 0.3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大大学教育学部 教授 （平21.4）	5日
16	専	准教授	オダ ヤスユキ 織田 泰幸 ＜令和3年4月＞		修士 （教育学）		スクールマネジメントの理論と実践 学校づくりの理論と実践 専門職（プロフェッショナル）としての教師論 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 学級づくりへの実践的アプローチ 学校改善の理論と実践 日本とアメリカにおける学校教育の現状と課題	1・2前 1・2後 1・2前 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2後 1・2前 1・2後	2 2 2 2 2 2 2 5 5 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大大学教育学部 准教授 （平20.4）	5日
17	専	准教授	カワムラ ユウミ 川村 有美 ＜令和3年4月＞		博士 （教育学）		各教科教育の授業研究の最前線※ 音楽科授業の目的と内容 音楽科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内容研究（中等・音楽科） 音楽科教材研究・教材開発演習	1・2前 1・2前 1・2後 1・2後 2前	0.1 2 2 2 2	1 1 1 1 1	三重大大学教育学部 准教授 （平22.4）	5日
18	専	准教授	ゴウコン アユム 郷右近 歩 ＜令和3年4月＞		博士 （教育学）		授業研究の理論と方法（特別支援教育） 特別支援教育の課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ（特別支援教育） 課題発見・解決実習Ⅱ（特別支援教育） 病弱児の理解と支援 障害児のコミュニケーション支援 発達障害児の事例分析 障害児の教育と福祉	1・2前 2後 1通 2通 1・2後 1・2後 1・2前 1・2前	2 2 5 5 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	三重大大学教育学部 准教授 （平19.4）	5日
19	専	准教授	クリタ トキカ 栗田 季佳 ＜令和3年4月＞		博士 （教育学）		授業研究の理論と方法（特別支援教育） 特別支援教育の課題解決演習Ⅱ 課題発見・解決実習Ⅰ（特別支援教育） 課題発見・解決実習Ⅱ（特別支援教育） インクルーシブ教育と合理的配慮 障害児のコミュニケーション支援 発達障害児の事例分析 障害児の教育と福祉	1・2前 1後 1通 2通 1・2前 1・2後 1・2前 1・2前	2 2 5 5 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	三重大大学教育学部 准教授 （平26.4）	5日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位 数	年 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
20	専	講師	ソノベ(ミヤマ) ユリエ 園部(三山)友里恵 ＜令和3年4月＞		博士 (教育学)		現代カリキュラム論 カリキュラム開発の理論と方法 専門職（プロフェッショナル）とし ての教師論 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 表現教育としての教育実践 地域の特性を生かした学校カリキュ ラムデザイン論	1・2前 1・2後 1・2前 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2前 1・2前	2 2 2 2 2 2 2 5 5 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学大学院 教育学研究科 特任教員(教育担当) 特任講師 (平28.4)	4日
21	専	講師	モリ コウヘイ 森 浩平 ＜令和3年4月＞		博士 (教育情 報学)		授業研究の理論と方法（特別支援教 育） 特別支援教育の課題解決演習Ⅱ 課題発見・解決実習Ⅰ（特別支援教 育） 課題発見・解決実習Ⅱ（特別支援教 育） 知的障害児の理解と支援 障害児のコミュニケーション支援 発達障害児の事例分析 障害児のキャリア支援 障害児の教育と福祉	1・2前 1後 1通 2通 1・2前 1・2後 1・2前 1・2前 1・2前	2 2 5 5 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学教育学部 講師 (平30.2)	5日
22	実専	教授	タナベ マサアキ 田邊 正明 ＜令和3年4月＞		教育学士		生徒指導の今日的な課題と実践 学校づくりの理論と実践 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 学校改善の理論と実践	1・2前 1・2後 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2前	2 2 2 2 2 2 5 5 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学大学院 教育学研究科 特任教員(教育担当) 特任教授 (平26.4)	4日
23	実専	教授	イチカワ ノリフミ 市川 則文 ＜令和3年4月＞		文学士		学校づくりの理論と実践 専門職（プロフェッショナル）とし ての教師論 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 学級づくりへの実践的アプローチ 学校改善の理論と実践	1・2後 1・2前 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2後 1・2前	2 2 2 2 2 2 5 5 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学大学院 教育学研究科 特任教員(教育担当) 特任教授 (平29.4)	4日
24	実専	教授	ナカニシ マサハル 中西 正治 ＜令和3年4月＞		博士 (教育学)		数学科授業の目的と内容 数学科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（数 学） 数学科教材開発実習 課題発見・解決実習Ⅰ	1・2前 1・2後 1・2後 2前 1通	2 2 2 2 5	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 特任教員(教育担当)特 任教授 (令2.4)	5日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位 数	年 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
25	実専	教授	タナカ ノブアキ 田中 伸明 ＜令和3年4月＞		修士 （教育学）		課題発見・解決実習Ⅱ 各教科教育の授業研究の最前線※ 数学科授業の目的と内容 数学科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（数 学） 数学科教材開発実習	2通 1・2前 1・2前 1・2後 1・2後 2前	5 0.3 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平23.4）	5日
26	実専	教授	ヒガシ トシユキ 東 俊之 ＜令和3年4月＞		教育学士		学校づくりの理論と実践 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 学校改善の理論と実践	1・2後 1通 2通 1・2前	2 5 5 2	1 1 1 1	三重大学大学院 教育学研究科 特任教員（教育担当） 特任教授 （令2.4）	2日
27	実専	教授	タカタ アキヒロ 高田 明裕 ＜令和3年4月＞		教育学士		学校づくりの理論と実践 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 学校改善の理論と実践	1・2後 1通 2通 1・2前	2 5 5 2	1 1 1 1	三重大学大学院 教育学研究科 特任教員（教育担当） 特任教授 （令2.4）	2日
28	実専	教授	エノモト カズヨシ 榎本 和能 ＜令和3年4月＞		教育学士		課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ	1通 2通	5 5	1 1	三重大学地域拠点 サテライト 特任教員（教育担当） 特任教授 （平29.10）	3日
29	実専	教授	ハギノ マキ 萩野 真紀 ＜令和3年4月＞		修士 （学術）		課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ	1通 2通	5 5	1 1	三重大学地域拠点 サテライト 特任教員（教育担当） 特任教授 （平29.10）	3日
30	実専	准教授	カヤモリ カズシゲ 栢森 和重 ＜令和3年4月＞		文学士		現代カリキュラム論 カリキュラム開発の理論と方法 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 地域の特性を生かした学校カリキュ ラムデザイン論	1・2前 1・2後 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2前	2 2 2 2 2 2 5 5 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学大学院 教育学研究科 准教授 （平31.4）	5日
31	実専	准教授	ミウラ ヨウコ 三浦 洋子 ＜令和3年4月＞		教職修士 （専門職）		現代カリキュラム論 カリキュラム開発の理論と方法 地域の教育課題解決演習Ⅰ 地域の教育課題解決演習Ⅱ 地域の教育課題解決演習Ⅲ 地域の教育課題解決演習Ⅳ 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 地域の特性を生かした学校カリキュ ラムデザイン論	1・2前 1・2後 1前 1後 2前 2後 1通 2通 1・2前	2 2 2 2 2 2 5 5 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	三重大学大学院 教育学研究科 准教授 （平31.4）	5日
32	実専	講師	ウチダ ミノル 内田 実 ＜令和3年4月＞		教育学士		課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ	1通 2通	5 5	1 1	三重大学教育学部 特任教員（教育担当） 特任講師 （平29.4）	3日
33	実専	講師	ミンクチ ヒロヒロ 溝口 宏彦 ＜令和3年4月＞		教育学士		課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ	1通 2通	5 5	1 1	三重大学教育学部 特任教員（教育担当） 特任講師 （平30.4）	3日
34	実み	教授	スギサワ クミコ 杉澤 久美子 ＜令和3年4月＞		修士 （教育学）		学校づくりの理論と実践 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 学校改善の理論と実践	1・2後 1通 2通 1・2前	2 5 5 2	1 1 1 1	三重大学教育学部 附属幼稚園 副園長 （平29.4）	1日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	当 単 位	当 数	年 間 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
35	実み	教授	ニシムラ テツジ 西村 哲二 ＜令和3年4月＞		教育学士		学校づくりの理論と実践 課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ 学校改善の理論と実践	1・2後 1通 2通 1・2前	2 5 5 2	1 1 1 1		三重大教育学部 附属小学校 副校長 （平31.4）	1日
36	実み	教授	ヤマモト キヨシ 山本 潔 ＜令和3年4月＞		修士 （教育学）		課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ	1通 2通	5 5	1 1		三重大教育学部 附属中学校 副校長 （令2.4）	1日
37	実み	教授	オオハラ ヨシノリ 大原 喜教 ＜令和3年4月＞		教育学士		課題発見・解決実習Ⅰ 課題発見・解決実習Ⅱ	1通 2通	5 5	1 1		三重大教育学部 附属特別支援学校 副校長 （令2.4）	1日
38	兼担	教授	マツモト アキヒコ 松本 昭彦 ＜令和3年4月＞		博士 （文学）		国語科授業の目的と内容 国語科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内 容研究（中等・国語科） 国語科教材研究・教材開発演習	1・2前 1・2後 1・2後 2前	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大教育学部 教授 （平10.4）	5日
39	兼担	教授	ヨ ケン 余 健 ＜令和3年4月＞		修士 （文学）		国語科授業の目的と内容 国語科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内 容研究（中等・国語科） 国語科教材研究・教材開発演習	1・2前 1・2後 1・2後 2前	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大教育学部 教授 （平14.4）	5日
40	兼担	教授	ハヤシ アサコ 林 朝子 ＜令和3年4月＞		修士 （教育学）		国語科授業の目的と内容 国語科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内 容研究（中等・国語科） 国語科教材研究・教材開発演習 外国につながる児童・生徒への教育	1・2前 1・2後 1・2後 2前 1・2後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1		三重大教育学部 教授 （平19.4）	5日
41	兼担	教授	フジタ タツオ 藤田 達生 ＜令和3年4月＞		学術博士		社会科・地理歴史科の授業目的と内 容 教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／地理歴史科） 学校の安全と防災教育※	1・2前 1・2後 1・2通	2 2 0.3	1 1 1		三重大教育学部 教授 （平5.4）	5日
42	兼担	教授	アキモト ヒロト 秋元 ひろと ＜令和3年4月＞		文学修士		教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／公民科） 社会科・公民科の授業目的と内容	1・2後 2前	2 2	1 1		三重大教育学部 教授 （平4.4）	5日
43	兼担	教授	ミヤオカ クニヒデ 宮岡 邦任 ＜令和3年4月＞		博士 （理学）		社会科・地理歴史科の授業目的と内 容 教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／地理歴史科） 学校の安全と防災教育※	1・2前 1・2後 1・2通	2 2 2	1 1 1		三重大教育学部 教授 （平12.10）	5日
44	兼担	教授	タマシロ マサカズ 玉城 政和 ＜令和3年4月＞		博士 （理学）		数学科教材開発実習	2前	2	1		三重大教育学部 教授 （平7.4）	5日
45	兼担	教授	フジミネ シノブキ 露峰 茂明 ＜令和3年4月＞		理学博士		数学科の基盤的知識とその本質	1・2後	2	1		三重大教育学部 特任教員（教育担当）特 任教授 （平29.4）	4日
46	兼担	教授	ニウタ タカシ 新田 貴士 ＜令和3年4月＞		理学博士		数学科授業の目的と内容	1・2前	2	1		三重大教育学部 教授 （平5.4）	5日
47	兼担	教授	ヒサノ フミオ 肥田野 久二男 ＜令和3年4月＞		博士 （理学）		教材開発のための教科内容研究（数 学）	1・2後	2	1		三重大教育学部 教授 （平15.4）	5日
48	兼担	教授	カワムラヤマ ヒロユキ 川向 洋之 ＜令和3年4月＞		博士 （数理学 科学）		数学科の基盤的知識とその本質	1・2後	2	1		三重大教育学部 教授 （平10.4）	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位 数	年 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
49	兼任	教授	コセキ ハルタカ 古関 春隆 ＜令和3年4月＞		理学博士		教材開発のための教科内容研究（数 学）	1・2後	2	1	三重大学教育学部 特任教員（教育担当）特 任教授 （平31.4）	4日
50	兼任	教授	ハギワラ カウユキ 萩原 克幸 ＜令和3年4月＞		博士 （工学）		数学科教材開発実習	2前	2	1	三重大学教育学部 教授 （平16.4）	5日
51	兼任	教授	ゴトウ タイチロウ 後藤 太一郎 ＜令和3年4月＞		医学博士		理科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・理科） 理科教材開発実習 海外教育特別実地研究	1・2後 1・2後 2前 1・2前	2 2 2 2	1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （昭62.4）	5日
52	兼任	教授	イトウ ノブナリ 伊藤 信成 ＜令和3年4月＞		博士 （理学）		理科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・理科） 理科教材開発実習	1・2後 1・2後 2前	2 2 2	1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平17.4）	5日
53	兼任	教授	クリハラ ユキト 栗原 行人 ＜令和3年4月＞		博士 （理学）		理科の授業目的と内容 理科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・理科） 理科教材開発実習 学校の安全と防災教育※	1・2前 1・2後 1・2後 2前 1・2通	2 2 2 2 0.3	1 1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平21.10）	5日
54	兼任	教授	カネシゲ ナオフミ 兼重 直文 ＜令和3年4月＞		音楽学士		音楽科授業の目的と内容 音楽科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内 容研究（中等・音楽科） 音楽科教材研究・教材開発演習	1・2前 1・2後 1・2後 2前	2 2 2 2	1 1 1 1	三重大学教育学部 特任教員（教育担当） 特任教授 （令2.4）	4日
55	兼任	教授	モリカワ コウタロウ 森川 孝太朗 ＜令和3年4月＞		修士 （音楽）		音楽科授業の目的と内容 音楽科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内 容研究（中等・音楽科） 音楽科教材研究・教材開発演習	1・2前 1・2後 1・2後 2前	2 2 2 2	1 1 1 1	三重大学教育学部 准教授 （平18.10）	5日
56	兼任	教授	ヤマダ ヤスヒコ 山田 康彦 ＜令和3年4月＞		教育学 修士		美術科の授業目的と内容 美術科の基盤的知識とその本質 美術科教材開発実習 表現教育としての教育実践	1・2前 1・2後 2前 1・2前	2 2 2 2	1 1 1 1	三重大学教育学部 特任教員（教育担当）特 任教授 （平31.4）	4日
57	兼任	教授	オカダ ヒロアキ 岡田 博明 ＜令和3年4月＞		芸術学 修士		美術科の授業目的と内容 美術科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・美術） 美術科教材開発実習	1・2前 1・2後 1・2後 2前	2 2 2 2	1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平9.4）	5日
58	兼任	教授	ヤマダチ ヤスヒロ 山口 泰弘 ＜令和3年4月＞		文学修士		美術科の授業目的と内容 美術科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・美術） 美術科教材開発実習	1・2前 1・2後 1・2後 2前	2 2 2 2	1 1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平9.4）	5日
59	兼任	教授	セキ シュンイチ 関 俊一 ＜令和3年4月＞		デザイン 修士		美術科の授業目的と内容 美術科の基盤的知識とその本質 美術科教材開発実習	1・2前 1・2後 2前	2 2 2	1 1 1	三重大学教育学部 教授 （平23.4）	5日
60	兼任	教授	ヤギ ノリオ 八木 規夫 ＜令和3年4月＞		教育学 修士		保健体育の基盤的知識とその本質 保健体育科教材開発実習	1・2後 2前	2 2	1 1	三重大学教育学部 特任教員（教育担当）特 任教授 （平31.4）	4日
61	兼任	教授	ツルハラ キヨシ 鶴原 清志 ＜令和3年4月＞		体育学士		保健体育の基盤的知識とその本質 保健体育科教材開発実習	1・2後 2前	2 2	1 1	三重大学教育学部 教授 （昭61.12）	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位	当 数	年 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
62	兼任	教授	ゴトウ ヨウコ 後藤 洋子 ＜令和3年4月＞		体育学士		保健体育の授業目的と内容 教材開発のための教科内容研究（中 等・保健体育）	1・2前 1・2後	2 2	1 1		三重大教育学部 教授 （昭62.12）	5日
63	兼任	教授	トガシ ケンジ 富樫 健二 ＜令和3年4月＞		博士 （医学）		保健体育の基盤的知識とその本質 保健体育科教材開発実習	1・2後 2前	2 2 2	1 1 1		三重大教育学部 教授 （平9.4）	5日
64	兼任	教授	シゲマツ リョウスケ 重松 良祐 ＜令和3年4月＞		博士 （体育科 学）		保健体育の授業目的と内容 教材開発のための教科内容研究（中 等・保健体育） 学校の安全と防災教育※	1・2前 1・2後 1・2通	2 2 0.3	1 1 1		三重大教育学部 教授 （平14.4）	5日
65	兼任	教授	マツオカ マモル 松岡 守 ＜令和3年4月＞		工学博士		技術科における授業の目的と内容 ものづくり教育の基盤的知識とその 本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・技術科） 技術科教材開発実習	1・2前 1・2後 1・2後 1・2後	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大教育学部 特任教員（教育担当）特 任教授 （令2.4）	5日
66	兼任	教授	マツモト キンヤ 松本 金矢 ＜令和3年4月＞		工学博士		技術科における授業の目的と内容 ものづくり教育の基盤的知識とその 本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・技術科） 技術科教材開発実習	1・2前 1・2後 1・2後 1・2後	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大教育学部 教授 （平3.4）	5日
67	兼任	教授	マスダ トモエ 増田 智恵 ＜令和3年4月＞		博士 （学術）		家庭科の授業目的と内容 家庭科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・家庭科） 家庭科教材開発実習	2前 1・2前 1・2後 1・2後	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大教育学部 特任教員（教育担当）特 任教授 （令2.4）	4日
68	兼任	教授	イソベ ユカ 磯部 由香 ＜令和3年4月＞		博士 （学術）		家庭科の授業目的と内容 家庭科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・家庭科） 家庭科教材開発実習 学校の安全と防災教育※	2前 1・2前 1・2後 1・2後 1・2通	2 2 2 2 0.3	1 1 1 1 1		三重大教育学部 教授 （平11.4）	5日
69	兼任	教授	ヒラシマ マドカ 平島 円 ＜令和3年4月＞		博士 （学術）		家庭科の授業目的と内容 家庭科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・家庭科） 家庭科教材開発実習 学校の安全と防災教育※	2前 1・2前 1・2後 1・2後 1・2通	2 2 2 2 0.3	1 1 1 1 1		三重大教育学部 教授 （平18.4）	5日
70	兼任	教授	ニシムラ ヒデオ 西村 秀夫 ＜令和3年4月＞		文学修士		英語科の授業目的と内容 英語の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・英語） 英語科教材開発実習	2前 1・2前 1・2後 1・2後	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大教育学部 教授 （平22.10）	5日
71	兼任	教授	ミヤチ ノブヒロ 宮地 信弘 ＜令和3年4月＞		文学修士		英語科の授業目的と内容 英語の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・英語） 英語科教材開発実習	2前 1・2前 1・2後 1・2後	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大教育学部 特任教員（教育担当）特 任教授 （平31.4）	4日
72	兼任	教授	マツウラ ヒトシ 松浦 均 ＜令和3年4月＞		博士 （心理学）		学校改善の理論と実践	1・2前	2	1		三重大教育学部 教授 （平成20.10）	5日
73	兼任	教授	セト ミチコ 瀬戸 美奈子 ＜令和3年4月＞		博士 （心理学）		カウンセリングの理論と実践	1・2後	2	1		三重大教育学部 教授 （平成23.10）	5日
74	兼任	教授	イトウ トシコ 伊藤 敏子 ＜令和3年4月＞		文学修士		専門職（プロフェッショナル）とし ての教師論	1・2前	2	1		三重大教育学部 教授 （平8.4）	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 単 位	当 数	年 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
75	兼任	教授	ミナミ マナブ 南 学 ＜令和3年4月＞		心理学 博士		表現教育としての教育実践	1・2前		2		1	三重大学教育学部 教授 （平18.4）	5日
76	兼任	准教授	ワダ タカシ 和田 崇 ＜令和3年4月＞		博士 （文学）		国語科授業の目的と内容 国語科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内容 研究（中等・国語科） 国語科教材研究・教材開発演習	1・2前 1・2後 1・2後 2前		2 2 2 2		1 1 1 1	三重大学教育学部 准教授 （平27.4）	5日
77	兼任	准教授	マハラ ジュンジ 馬原 潤二 ＜令和3年4月＞		博士 （政治学）		教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／公民科） 社会科・公民科の授業目的と内容	1・2後 2前		2 2		1 1	三重大学教育学部 准教授 （平24.4）	5日
78	兼任	准教授	オオツボ ヨシユキ 大坪 慶之 ＜令和3年4月＞		博士 （文学）		社会科・地理歴史科の授業目的と内 容 教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／地理歴史科）	1・2前 1・2後		2 2		1 1	三重大学教育学部 准教授 （平22.4）	5日
79	兼任	准教授	ウラタ ヒロノブ 内田 秀昭 ＜令和3年4月＞		博士 （経済学）		教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／公民科） 社会科・公民科の授業目的と内容	1・2後 2前		2 2		1 1	三重大学教育学部 准教授 （平23.4）	5日
80	兼任	准教授	モリヤマ タカユキ 森山 貴之 ＜令和3年4月＞		博士 （理学）		数学科授業の目的と内容	1・2前		2		1	三重大学教育学部 准教授 （平25.4）	5日
81	兼任	准教授	クニナカ ヒロト 國仲 寛人 ＜令和3年4月＞		博士 （人間・ 環境学）		理科の授業目的と内容 理科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・理科） 理科教材開発実習 海外教育特別実地研究	1・2前 1・2後 1・2後 2前 1・2前		2 2 2 2 2		1 1 1 1 1	三重大学教育学部 准教授 （平22.4）	5日
82	兼任	准教授	ヒラヤマ ダイスケ 平山 大輔 ＜令和3年4月＞		博士 （理学）		理科の授業目的と内容 理科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・理科） 理科教材開発実習	1・2前 1・2後 1・2後 2前		2 2 2 2		1 1 1 1	三重大学教育学部 准教授 （平21.4）	5日
83	兼任	准教授	オグタ マスミ 奥田 真澄 ＜令和3年4月＞		修士 （美術）		美術科の授業目的と内容 美術科の基盤的知識とその本質 美術科教材開発実習	1・2前 1・2後 2前		2 2 2		1 1 1	三重大学教育学部 准教授 （平24.4）	5日
84	兼任	准教授	オオクマ（シミズ）セツコ 大隈（清水） 節子 ＜令和3年4月＞		修士 （体育学）		保健体育の授業目的と内容 教材開発のための教科内容研究（中 等・保健体育）	1・2前 1・2後		2 2		1 1	三重大学教育学部 准教授 （平19.4）	5日
85	兼任	准教授	カブツ タカヒロ 加納 岳拓 ＜令和3年4月＞		修士 （教育学）		保健体育の授業目的と内容 保健体育科教材開発実習	1・2前 2前		2 2		1 1	三重大学教育学部 准教授 （平26.4）	5日
86	兼任	准教授	ナカニシ ヤスマサ 中西 康雅 ＜令和3年4月＞		博士 （工学）		技術科における授業の目的と内容 ものづくり教育の基盤的知識とその 本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・技術科） 技術科教材開発実習	1・2前 1・2後 1・2後 1・2後		2 2 2 2		1 1 1 1	三重大学教育学部 准教授 （平16.4）	5日
87	兼任	准教授	ナカガワ ユウヤ 中川 右也 ＜令和3年4月＞		修士 （文学）		英語科の授業目的と内容 英語の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・英語） 英語科教材開発実習	2前 1・2前 1・2後 1・2後		2 2 2 2		1 1 1 1	三重大学教育学部 准教授 （令2.4）	5日
88	兼任	准教授	ヨシダ（カゴミヤ）マリコ 吉田（籠宮）真理子 ＜令和3年4月＞		修士 （学術）		幼児教育・保育の理論と方法 幼児教育・保育の実践分析と開発	1・2前 1・2前		2 2		1 1	三重大学教育学部 准教授 （平23.4）	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位	担 当 数	年 間 開 講 数	現 職 （就任年月）	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
89	兼任	准教授	ハットリ アキコ 服部 明子 ＜令和3年4月＞		博士 （文学）		外国につながる児童・生徒への教育 学校の安全と防災教育※	1・2後 1・2通	2 0.3	1 1		三重大学教育学部 准教授 （平成23.4）	5日
90	兼任	准教授	オビシタ マサフミ 大日方 真史 ＜令和3年4月＞		博士 （文学）		学校改革の中の現代教師論	1・2前	2	1		三重大学教育学部 准教授 （平成25.4）	5日
91	兼任	講師	イソノ タカミ 磯野 巧 ＜令和3年4月＞		博士 （理学）		社会科・地理歴史科の授業目的と内容 教材開発のための教科内容研究（中 等・社会科／地理歴史科） 学校の安全と防災教育※	1・2前 1・2後 1・2通	2 2 0.3	1 1 1		三重大学教育学部 講師 （平28.4）	5日
92	兼任	講師	イチカワ シュンスケ 市川 俊輔 ＜令和3年4月＞		博士 （学術）		理科の授業目的と内容 理科の基盤的知識とその本質 教材開発のための教科内容研究（中 等・理科） 理科教材開発実習	1・2前 1・2後 1・2後 2前	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大学教育学部 講師 （平28.4）	5日
93	兼任	講師	オバタ マリコ 小畑 真梨子 ＜令和3年4月＞		修士 （芸術学）		音楽科授業の目的と内容 音楽科の基盤的知識とその本質 教材研究・教材開発のための教科内 容研究（中等・音楽科） 音楽科教材研究・教材開発演習	1・2前 1・2後 1・2後 2前	2 2 2 2	1 1 1 1		三重大学教育学部 講師 （平25.4）	5日
94	兼任	講師	スイツ サチエ 水津 幸恵 ＜令和3年4月＞		博士 （社会科学）		幼児教育・保育の理論と方法 家庭・地域連携の取組の実践分析と 開発	1・2前 1・2後	2 2	1 1		三重大学大学院教育学 研究科 講師 （平31.4）	5日

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	1 人	4 人	1 人	2 人	人	8 人	
	修 士	人	人	1 人	3 人	5 人	3 人	人	12 人	
	学 士	人	人	人	人	2 人	4 人	1 人	7 人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	1 人	2 人	人	人	人	人	3 人	教職修士 (専門職)
	修 士	人	人	1 人	人	人	人	人	1 人	
	学 士	人	人	人	1 人	人	人	人	1 人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	1 人	人	人	人	1 人	
講 師	博 士	人	2 人	人	人	人	人	人	2 人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	2 人	人	2 人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	3 人	3 人	4 人	1 人	2 人	人	13 人	
	修 士	人	人	2 人	3 人	5 人	3 人	人	13 人	
	学 士	人	人	人	1 人	2 人	6 人	1 人	10 人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	1 人	人	人	人	1 人	